



恒久平和の誓い 新たに



6月14日、平成28年度豊頃町戦没者追悼式がえる夢館で行われ、遺族や来賓など56名が参列し、本町の戦没者70名を偲びました。

午前11時にサイレン吹鳴とともに参列者全員による黙とうが行われた後、宮口町長は「私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄が、多くの方々の尊い犠牲の上に成り立っていることを忘れてはならない」と式辞を述べました。また、町殉公遺族会の多田誠一会長は「恒久平和達成のため今後も一層の努力をいたして参ります」と追悼の辞を述べました。

この後、戦没者一人ひとりの写真がステージに映しだされる中、参列者全員が祭壇に献花しました。

花壇整備と旗の波作戦



6月5日、豊頃地域づくり協議会（相澤和幸会長）は、豊頃旭町の国道38号と道道72号交差点付近にある花壇に、花の苗を植えました。

この日は、午前8時からシャベルを片手に集まった地区の住民ら約30人がサルビアやマリーゴールドなどの苗1,800株を花壇に一本一本丁寧に植えていました。また、花壇整備終了後には、参加者が国道38号沿いに立って「旗の波作戦」を展開し、道行くドライバーに対して旗を振りながら安全運転を呼びかけました。



町内小中学校緑の募金運動



大津小学校児童会



豊頃小学校児童会



豊頃中学校生徒会

平成28年度『緑の募金運動』が、北海道森と緑の会主催により実施されました。

『緑の募金運動』とは、北海道森と緑の会が実施主体で行われ、地球規模での森林づくりを進めることを目的に、『緑の募金』が重要な緑の普及啓発活動であるとの認識のもとで、全道の市町村緑化推進委員会等と連携し行われる運動です。地域で集められた緑の募金は、学校等に緑化資材や植樹祭の苗木を提供するなど身近な森づくりや、緑ゆたかな街づくりに役立てられています。

今年度も、豊頃中学校生徒会、豊頃小学校児童会および大津小学校児童会など各団体の協力のおかげで、55,175円の募金が集まりました。

小学校、保育所で人権の花運動



5月17日 茂岩保育所



6月7日 豊頃小学校



6月10日 大津小学校

5月17日に茂岩保育所、6月7日に豊頃小学校、6月10日には大津小学校でそれぞれ『人権の花運動』が行われ、人権擁護委員から贈呈されたマリーゴールド、サルビア、ペコニアなどの花の苗を、児童たちが一本一本丁寧に花壇に植えました。

この運動は、小学生と未就学児を対象に花壇等に花の苗を植え、花を育成することを通して感謝の心や思いやりの心を育むことを目的とした運動です。

豊頃町人権擁護委員の吉村進さんは「花を植えた後は、水をやって秋まで育ててください。育てることを通して周りの人々への思いやりの気持ちを養ってください」と話していました。

吉村さんに花植えの手ほどきを受ける豊頃小学校の児童



▽はるにれは見ていた 広報とよころ

役場だより

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

役場だより

ひのき屋・ライブツアー



6月21日、ひのき屋・ライブツアー（主催：ひのき屋ライブ実行委員会）がえる夢館で行われました。

ひのき屋は、1998年に函館で結成され、和太鼓やギター、篠笛、鍵盤ハーモニカなど多数の楽器を駆使し、多彩なオリジナル楽曲で会場を包み込み、日本のみならず、フランス、クロアチア、ブラジルなど海外公演も多数あるトラベリングバンドです。

この日は観客約150人の前で、1部と2部合わせて16曲を演奏し、訪れた観客たちは一緒になって手拍子でリズムをとるなど、ひのき屋が奏でる音色の世界観に魅了されていました。

ライオンズクラブが少年団に助成金



6月9日、豊頃ライオンズクラブ（山保崇会長、会員数31名）が、豊頃町スポーツ少年団本部（林俊則本部長）に助成金を贈りました。

助成金は毎年ライオンズクラブから渡されておりこの日は、山保会長がえる夢館を訪れ、直接林本部長に助成金を手渡しました。

山保会長は「スポーツ少年団に入っている子供たちに広く役立ててほしい」と述べました。

これに対し林本部長は、「スポーツ活動を頑張っている子供たちにとって、毎年とても貴重なご支援をいただき、ありがとうございます。今後の少年団活動に役立てていきたい」と話していました。

